令和４年９月３０日

学校だより

10月号

横浜市立美しが丘東小学校
学校長　　藤本　光子

ホームページ　http://www.edu.city.yokohama.jp/es/utsukusigaokahigashi/

特別を味わって

校長　藤本 光子

朝夕涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。学校の花壇には、本校のフラワーボランティアのみなさんが植えてくださった花々が爽やかな秋の風に揺れています。

先月、6年生が修学旅行に行きました。本校では3年ぶりの宿泊行事。初めての行事に子どもたちが期待や不安を感じるのは当然ですが、私たち職員も久しぶりの宿泊とあって、いつにも増して緊張感が高まっていました。特に感染症対策には悩まされることばかりでしたが、保護者の皆様にご協力いただきながら、なんとか無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

子どもたちの感想文を読んでみると、

日光東照宮は想像より立派だった。金色に塗られている唐門がとてもきれいだった。
華厳の滝や中禅寺湖など、壮大な自然を感じた。透き通る水が涼しかった。
宿で盛り上がったトランプ。はしゃぎすぎて少し迷惑もかけてしまった。
源泉は卵のようなにおいがして、ぷくぷくと湧き出ていた。足湯は疲れが取れた。

など、たくさんの体験や思い出が語られています。

私が心に残ったのは、旅行中のふとした子どもたちの反応です。紅葉坂ではバスの中から鹿が見え、「すごい！鹿だ！」と歓声が上がりました。宿に着くと、「サルがいる！」と大興奮。見てみると、宿の側でサルが木登りしていました。すぐ手の届く距離です。もう興奮せずにはいられないでしょう。次の日の帰りのバスでは、「道路にネコがいる！」と騒ぎ、担任に「ネコは横浜にもいます。」とつっこまれるという、かわいらしいやりとりも・・・。その他にも、一人一鍋の食膳に驚いたり、初めてのシーツの敷き方に苦戦したり、思わず顔が緩んでしまうエピソードがたくさんありました。

豊かな自然や歴史に触れること、また、朝も夜も、いつも隣に友達がいるということは、日常にない「特別」なことです。この修学旅行でたっぷりと味わった楽しさ、おもしろさ、大変ささえも、「特別」な思い出になってくれると嬉しいです。